

まち
みんなでともに暮らす府中へ



す や ま

須山 たかし

府中市議会議員

まち 市民が参加する府中づくり 「ないものねだり」から「あるもの探し」へ ※

私が目指すのは、「市民が参加する府中づくり」です。

議員や一部の人だけで「府中づくり」を進めるのではなく、様々な立場の人たちが各々の視点から意見を出し合い、助け合い、補い合いながら、**ともに** まちづくりを進めて行く。そんな府中にしたいと考えます。

いま全国を見渡しても、財政が豊かな自治体はほとんどありません。府中市も厳しい財政状況のもとで、古くなった施設やインフラの補修が急務。その一方では、子育て支援や安全・安心なまちづくりに欠かせない防災や環境整備など、未来に向けての投資が求められています。

今こそ、限られた市の財布からどこにお金を使うかをしっかり議論し、チェックしていくことが大切。「ないものねだりからあるもの探しへ」と発想をギア・チェンジして、私たち一人ひとりが「府中づくり」に参加する時です。

市民も議員も、古くから府中に住む人も新しく住み始めた人も、お年寄りも若者も、垣根なくみんなで参加する「チーム府中」で、**ともに** この難局を乗り越えて行きましょう。

その「つなぎ役」としてさらに精一杯働かせていただきたい。
それが一年生議員である私の目標です。

[須山たかし・談]

Q. なぜ市議に？



A. 学生時代に、電動車椅子の友人と街を歩いて、バリアの多さにびっくり！まちづくりには様々な立場からの視点が必要なのだと思いがけられました。

誰もが「あたりまえ」に生活できる「まちづくり」を自分が育った大好きな府中で実現したい。この思いが私の政治活動の原点です。

※ 学生の頃から師と仰いでいる、「地元学」を提唱されている民俗研究家の 結城登美雄氏の言葉です。

須山たかしが実現したこと・したいことは、裏面へ

彼の行動力を信頼し、応援します。



高野 孟

ジャーナリスト
THE JOURNAL 主宰



蓮 舫

参議院議員
民主党代表代行



小山くにひこ

東京都議会議員
(府中市選出)

Profile

- 1980(昭和55)年11月6日生まれ(34歳)。府中市晴見町育ち・在住。明星幼稚園、桐朋小・中・高校、早稲田大学社会科学部卒業。
- 早稲田大学大隈塾においてジャーナリスト高野孟に師事(1期生)。卒業後、特許事務所に3年半勤める。その後、政党本部スタッフ、参議院議員公設秘書など国政に従事。蓮舫(れんぼう)参議院議員の秘書を務めた後、2011年府中市議会議員に初当選。
- 基地跡地対策特別委員会委員長、文教委員会委員、会派:市民フォーラム
- 地域での活動/公益社団法人むさし府中青年会議所会員、けやき音楽祭2013 JAZZ in FUCHU 実行委員長、武蔵野府中ボーイズ名誉顧問
- 民主党府中市支部広報委員長、民主党東京都連青年委員会交流局長代理



mail suyama1980@gmail.com

■ 連絡事務所: 須山たかし後援会
〒183-0057 府中市晴見町1-15-73 Tel. & Fax 042-307-8309

市民とともに考えて、みんなで **ともに** 暮らす府中を創る

携帯アプリとネットの活用で行政情報をしっかり届ける ※



- 提案をし、府中と国分寺が協働して開発した**観光アプリ**「ぶらり国・府」が、昨年末に公開。さらに充実と周知を図ると共に、**防災**面でのアプリ活用にもつなげたい。
- **ごみアプリ**で、ごみ出しルールなどを簡単に確認できるようにして、さらなるごみ減量化を図る。
- 実現を後押しした **市議会のインターネット中継**がスタート。常任委員会や、予決算を除く特別委員会の議事録も公開が始まり、市議会が市民により身近になった。
- 開発に関わった「Where dose my money go? (私たちのお金は何処へ)」PCサイトの府中市版が今年オープン。税金の使われ方をチェックし、行政のあり方をともに考えるきっかけにしたい。

<http://fuchu-tokyo.spending.jp/>

アジ研の跡地利用を考える



平成28年度に移転予定のアジ研(アジア極東犯罪防止研修所)と法務省矯正研修所。3ha もの広大な土地にどのように良好な住環境を保持していくか。「**地区計画**」導入のために地域のみなさんと話し合いを進めている。ぜひご意見お聞かせ下さい。

ワークライフバランスと男女共同参画 ※

スーパーウーマンではない普通の女性がキャリアを諦めず、「働くことはあたりまえ」という考えの下で子どもを産み育てていける社会となるには、**一貫したキャリア教育**が必要。男女共同参画を進めるには、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)が大切だ。私も7月には父親になる予定。私事に復帰する妻との初めての子育て体験を通じて、このテーマにさらに積極的に取り組み続けたい。



子どもの未来を守る ※

任期最初の議会から府中市の土壌、大気、農産物等の**放射線量の測定**を提案。4年経った現在も定期的な測定を継続している。

復興支援の継続

民主党青年委員会の一員として、復興支援の物販活動を行う。



晴見町育ちです

一年生議員 須山たかしの一日を紹介

会合出席やイベント参加も、市民の生の声を聞くチャンス。

共働きなので家事も担当。得意料理はカレー。妻より腕は確かかも(笑)。



夕食

自転車で、まちを走り回っています。気軽に声をかけて下さい。ご意見・ご質問に耳を傾け、お答えします。



昼食

愛犬ポノと朝の散歩

府中で一番好きな場所「府中の森公園」へ足をのびし、**府中美術館の活用法**に頭を巡らせたりも。美術館を市民自らがマネジメントし、ボランティア活動の核とできないか…ぜひ、**知恵**をお貸しください。



音楽と芸術あふれるまちづくり

音楽あふれるまちを目指して、**2013 JAZZ in FUCHU 実行委員長**を務める。市内各地の24会場に、130ものバンドが出演し、市民のみなさんとの協働で、まち中が音楽につつまれた。



商店街を活性化

地元・晴見町商店街の「**まるごと宅配便**」が、昨年10月にサービスを開始。加盟店での買い物に有料(300円)で宅配するもの。お年をめされた方などに喜んでいただけ、私も積極的に関わったかいがある。



市庁舎で福祉作業所のパン販売 ※

私の提案で始まったこの試みが、新市庁舎にも引き継がれることが決定。現在、火・金曜のお昼に実施。作業所のみなさんの**就労支援**と、心のバリアフリーの拠点となるよう、市内各所に広げて行きたい。

朝の街宣活動

朝6時～8時過ぎまで、市内の駅頭に立ってご挨拶。「**原発ゼロ**」を訴える。冬はヒートテック着用が必須!



市議会



初当選以来、すべての定例会で**一般質問**を行ってきました。[※印は本文中に詳細あり]



- H27年① 災害時の妊産婦支援
- H26年④ 府中市の「おもてなし」※
- H26年③ 男女共同参画 ※
- H26年② 府中のアイデンティティ
- H26年① ごみの減量とスマホアプリの活用 ※
- H25年④ 交通バリアフリー
- H25年③ 子ども緊急避難の家の取組み
- H25年② 子どもたちが健やかに育つために府中市インフラマネジメント計画
- H24年③ 障害者作業委託事業 ※/総合防災訓練
- H24年② コミュニティ・デザイン ※
- H24年① 公立学校教育
- H23年④ 第6次府中市総合計画
- H23年③ H23年度府中市事務事業点検を終えて/放射線量の測定に関して ※
- H23年② 安心・安全な府中の「食」のために

「おもてなし」で国際都市へ ※

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据えて、駅前案内板や観光ガイドの**多言語化**を提案。15カ所の案内板で対応が決定。

コミュニティをデザインする ※

人がつながる仕組みをつくってまちづくりに活かす「コミュニティ・デザイン」の手法を提案。市民協働シンポジウムでコミュニティ・デザイナー山崎亮氏と府中市長との対談が実現した。

